

# 要小だより

## 第13号

要小学校発行  
発行責任者 小島 正

平25. 11. 12

要小のめざす児童

思いやりのある子  
集中して学ぶ子

元気な返事や挨拶のできる子

### なぜ、鎌倉で班別行動なの？

子ども達が成長するためには、いろいろなことに挑戦し、「自分でできた」という体験を積み重ねていくことが大切です。「自分でできた」という体験は、子ども達の自信につながるからです。また、子ども達が社会に出ていく時には、他の人と力を合わせることやみんなの意見を出し合い物事を決めて実行する力が必要になります。テストで点数をとれるだけでは、社会の中で生きていく力には身につきません。

8日（金）の5・6年生の鎌倉班別行動の時、とても印象的な場面を目にしました。「銭洗弁財天」と「源頼朝の墓」でのことだったのですが、小学生の集団が2列に並んで歩いていました。先頭と一番後ろは先生、その間を児童が並んで歩いていました。別の場所でもこの学校に会ったので、どの見学地もこのように歩いていたのだと思います。私は、「見学した場所は同じだったとしても、子ども達に残るものは、かなり違うものになるな」と思いました。

私は、子ども達を伸ばすためには、子ども達ができそうなことは子ども達に任せることが大切だと考えています。学校では、集会活動や行事はできるだけ先生が手を出さないで、児童に任せるようにしてきました。そして、「見た目の良さ」ではなく「子どもたちの手でできる」ことの方が価値があると考えています。こんな考えから、今回の鎌倉班別行動も実施することにしました。成果は、子どもたちの心の中にあります。果たして、どんな印象が残ったのかが楽しみです。

